

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 27 (2015) 年 12 月 10 日

第 5 号

発行 ㈱ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

中央教育審議会

総則・評価特別部会

指導要領全体における総則の在り方について意見交換

総則と各教科をつなぐ“中間目標”設定を求める声も

中教審「総則・評価特別部会」(羽入佐和子主査)の第2回会合が、12月2日に開催された。同時進行中の教科別ワーキンググループの審議状況について事務局が報告をした後、「学習指導要領等全体及び総則の構造に関する考え方」及び「発達の段階や成長過程のつながりを踏まえた総則の在り方」について検討が行われた。

委員からは、「言語能力や情報活用力の向上など教科横断課題については、総則で取り上げるべき」「現行の総則は指導要領のいわば大目標で、その次は教科個別の目標に飛ぶ。総則の中で“中間目標”のようなものを盛り込んで総則と教科をつないでは」「小中高12年間における当該学校段階の目標がわかるようなかたちにしたい」「何を書かないかという引き算の考え方も必要。現行の総則は一文が長い。学校現場にとってわかりやすい総則に」等、活発に意見が交わされた。

本特別部会の審議は平成27年度末から28年度明けを目途にとりまとめが行われ、その後、教育課程部会での全体審議へと移る予定だ。

道德教育に係る評価の
在り方に関する専門家会議

学校現場に求められる質の高い道德指導の工夫

道德教育に係る評価の在り方に関する専門家会議(天笠茂座長)は11月30日、第6回の会議を開催し、内面的資質・能力を養う道德への質的転換の必要性や、質の高い指導法、さらにそれを保証する諸条件についての議論を行った。

質の高い多様な指導例として、①読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、②問題解決的な学習、③道德行為に関する体験的な学習と挙げ、①については、登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えることによる道德的価値の理解、②では、問題場面について児童生徒自身の考えの根拠を問う発問、問題場面を自分に当てはめて考えさせる発問や道德的価値の意味を考えさせる発問の工夫、③はロールプレイなどを通して主体的問題解決を図る資質・能力の育成などを示した。評価については、アセスメントとしての機能やカリキュラム・マネジメントを踏まえた評価活動の工夫などが議論された。質の高さを担保するための諸要件はさらに議論されることになるが、指導法や評価活動については、学校現場からの実践的な提案も待たれるところだ。

数字あっとランダム

教員の構成や個人属性について文科省が3年ごとに実施する学校教員統計調査。下表はその最新調査結果より、中学校教員の担任状況（担任有無、担任学年・学級）の割合を職名ごとに表わしたものだ。

主幹教諭と指導教諭が担任となる場合、上学年を受け持つ割合が高いことが見て取れる（小学も同様）。指導教諭は特別支援学級担任となることが多いのも特徴的だ。

[中学校]
学級担任状況別・職名別 教員構成

区分	担任なし	担任あり					
		第1学年	第2学年	第3学年	複式学級	特別支援学級	
校長	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
副校長	99.6	0.4	0.1	—	0.0	0.3	—
教頭	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	—
主幹教諭	75.3	24.7	8.2	5.1	10.1	—	1.4
指導教諭	53.7	46.3	10.9	3.7	13.4	—	18.4
教諭	39.3	60.7	18.0	17.5	18.2	0.1	6.9
助教諭	64.4	35.6	10.9	8.1	4.3	—	12.3
講師	69.3	30.7	11.7	7.4	5.5	0.0	6.1
養護教諭	99.9	0.1	0.0	—	0.0	0.0	—
養護助教諭	100.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—
栄養教諭	100.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—

(文部科学省「学校教員統計調査」平成25年度)

近刊
(12月下旬刊予定)
ご予約受付中!



ぎょうせい
Book Corner

育ちと学びをつなぐ
「幼保小連携教育」の挑戦

実践 接続期カリキュラム

木村吉彦 [監修] 茅野市教育委員会 [編]
B5判・定価(本体2,300円+税)

- 次期学習指導要領の方向性として、幼児教育と小学校教育の接続を強化することが決定。幼児期と児童期の発達につながりに配慮して編成・実施する「接続期カリキュラム」の重要性が今後ますます高まります。
- 本書は、就学前のアプローチ・カリキュラムと就学後のスタート・カリキュラムの一体的な計画づくりから指導の実際までを凝縮した「接続期カリキュラム」実践ガイド。全市一斉に同カリキュラムを導入した長野県茅野市の実践事例を通して、接続の具体的なノウハウを示します。



今日の話

◆8日 元号「平成」に改元(1989/『史記』の「内平らかに外成る」、『書経』の「地平らかに天成る」より) ◆9日 クイズ(とんち)の日(一休さん=1・9) ◆10日 110番の日/かんぴょうの日 ◆11日 成人の日(2016)/鏡開き/塩の日 ◆12日 桜島の日 ◆13日 国立大学入学試験で初の共通一次試験実施(1979) ◆14日 南極大陸で1年間置き去りにされたカラフト犬タロとジロの生存確認(1959) ◆15日 いちごの日

●●○12/10~1/15生まれの著名人○●● 12月 佐藤浩市(10日)、荻野目洋子(10日)、原由子(11日)、宮崎美子(11日)、小津安二郎(12日)、西村雅彦(12日)、仲代達矢(13日)、織田裕二(13日)、世良公則(14日)、坂本勇人[プロ野球選手](14日)、いわさきちひろ(15日)、谷川俊太郎(15日)、森田健作(16日)、松山千春(16日)、夏目雅子(17日)、有森裕子(17日)、江角マキコ(18日)、小雪(18日)、エディット・ピアフ(19日)、反町隆史(19日)、野口悠紀雄(20日)、野田秀樹(20日)、松本清張(21日)、本木雅弘(21日)、村上弘明(22日)、安めぐみ(22日)、笑福亭鶴瓶(23日)、宮部みゆき(23日)、平尾昌晃(24日)、石原さとみ(24日)、ニュートン(25日)、武井咲(25日) [12/26~1/5 略] 1月 ジャンヌ・ダルク(6日)、八千草薫(6日)、前島密(7日)、水木一郎(7日)、堀口大学(8日)、森英恵(8日)、大林宣彦(9日)、岡本真夜(9日)、福澤諭吉(10日)、田中裕二[爆笑問題](10日)、伊能忠敬(11日)、ちばてつや(11日)、ペスタロッツ(12日)、村上春樹(12日)、阿刀田高(13日)、SAM[TRF](13日)、柴田理恵(14日)、北川悠仁[ゆず](14日)、キング牧師(15日)、樹木希林(15日)



編集BLOG

●今号は2ページ構成でお届けしました。今後も時々話題に応じて、2ページまたは4ページ構成で先生方のお仕事に関するニュースをお届けしていきます。●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申し込みを受け付けています。右のQRコードから、配信サービス登録サイトに簡単にアクセスしていただけますので、ぜひお申し込みください! ●「きょういくプレス」次号は1月14日(木)発行予定です。



●ご注文・お問い合わせ先

(株)ぎょうせい

フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者